



命を救うために、 ともに走りたい。

日本医科大学 高度救命救急センターが
クラウドファンディングを始めます

11 年間走り続けたドクターカーをリニューアルしたい！

救命の現場は一刻一秒を争い、現場からの迅速な医療の提供が救命につながります。日本医科大学では 2001 年より、より多くの命を救うために、医師が現場に直接出向くドクターカーの運用を行ってきました。おかげさまで、現在まで 5,000 件を超える救急患者さんに対応し、市民の安心安全に貢献してきました。

また北陸地方に大きな被害をもたらした令和 6 年能登半島地震においても、私たちは災害医療のスペシャリストとしてドクターカー医療班を送り、支援を続けています。

しかし、ドクターカー車両の購入費および活動費用にかかわる支出に対して公的支援は乏しく、病院の自己負担で運用している現状があります。現在運用しているドクターカーの車両は、11 年を超える使用により、買い替えが必要な時期にきています。

119 番通報から救急車が現場に到着する時間は、この 20 年間で延長し続けています。私たちの活動する東京都は全国最長であり、救命率は全国で最低です。

助かるべき命を助けるために、
『攻めの医療』を提供したい。
みなさんと一緒に走りたい。
どうかお力をお貸しください。

▼ 詳細はプロジェクトページよりご確認ください

<https://readyfor.jp/projects/nms-drcar2024>

※本クラウドファンディングは寄付金控除の対応となります。



目標金額 12,150,000 円

2024 年 2 月 1 日より開始予定

お問合せ先

学校法人日本医科大学 財務部募金課
TEL 03-5814-6893



ドクターカーの**名前**、付けませんか？

クラウドファンディングの返礼として、新たに導入するドクターカーの命名権（ネーミングライツ）を提供いたします。

寄付金額に応じて期間は 1 週間から 1 年間まで。企業名も可能です。みなさんと一緒に走る、新しいドクターカーの名前を付けてください！（ネーム採用の可否については、事前審査をさせていただきます。）

2024年2月1日より開始
クラウドファンディングのお願い

11年間走り続けたドクターカーを

リニューアルしたい！



プロジェクト趣意書

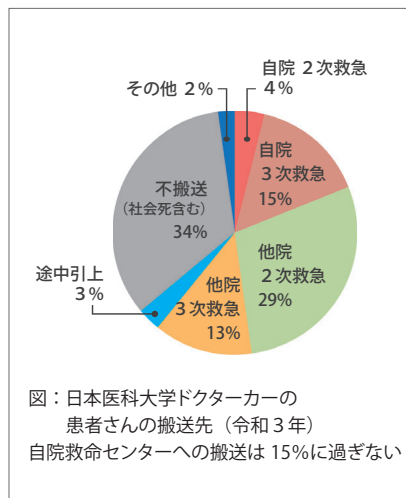
日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 部長
日本医科大学大学院医学研究科 救急医学分野 教授 横堀 将司

平素より弊院救命救急センターの医療活動へのご支援を賜り誠にありがとうございます。

日本医科大学救急医学教室が運営する高度救命救急センターは 1977 年東京最初の救命救急センターとして認可され、1993 年に全国救命センターの“The Best of Bests”として本邦で第 1 号の「高度救命救急センター」の認定を受けました。豊富なマンパワーと技術や情熱を背景に東京都第 3 次救急医療施設として年間約 1800 人の重症救急患者さんを受け入れています。2019 年に始まった新型コロナウイルス感染症の蔓延下においても、多くの重症救急患者さんを受け入れ、全国私立大学付属病院で最多の 450 例を超える患者さんに手厚い救急医療を提供しました。

本学の救急医学教室のモットーは『挑戦』です。この合言葉のもと、救命センターの開設より、攻めの救急医療を展開しています。また当院では病院前救護活動の一環として、ドクターカーシステムを活用しています。日本医科大学付属病院救命救急センターが 2001 年に開始した本事業は、運用開始以来 5,000 件以上の救急患者さんに対応し、市民の皆さまの安心安全に寄与してまいりました。さらには北陸地方に大きな被害をもたらした令和 6 年能登半島地震においても、私たちは災害医療のスペシャリストとしてドクターカー医療班を送り、シームレスな支援を続けています。

病院前救護活動において、救急隊や救急救命士が行うことができる処置が制限されている中で、私たちは現場で命の危険に瀕した患者さんに対して、迅速かつ適切な医療処置を行い、近隣の救命センターや救急病院へ搬送することで多くの患者さんの救命に貢献しています（右図）。



ドクターカー運用にかかる経費（新規に購入する場合の試算）

設備投資	車両（救急車タイプ）	18,000,000 円
	装備	9,000,000 円
	計	27,000,000 円
現在、購入 4 年で 10 万 km つまりドクターカーの年間走行距離： 約 25,000km…約 6 年で更新が必要		
毎年の経費	医師、看護師人件費*	28,072,000 円
	車両運行委託費	21,600,000 円
	減価償却費	4,000,000 円
	計	53,672,000 円

（※厚生労働省 救急・災害医療提供体制等の在り方に関する検討会資料より）

しかし、ドクターカーで病院前から診療した患者さんの自院救命センターへの搬送は全体の 15%ほどであり、自院への収益を期待できるものではありません。したがって、ドクターカーを活用した地域救急医療システムは、地域医療に貢献する非常に公益性の高いものと言えます。また、ドクターカー活動にかかわる費用の確保は非常に厳しい状況にあります。一般的に、新規ドクターカーを購入し維持するためには大きな財源が必要となります。したがって、新車の購入、備品交換、修理、ドライバーの人件費等、ドクターカー活動の維持費用が病院からの支出となっていることから、ドクターカー活動の継続的な運用に支障をきたしています。

現在、日本医科大学付属病院が運用しているドクターカー車両は 11 年を超える使用により、買い替えが必要な時期に来ております。今回、クラウドファンディングに『挑戦』し、ドクターカーの新規購入を目指したいと考えております。今後も引き続き、地域社会における医療への貢献を重要視し、市民の皆様の安全と健康の向上に努めてまいります。どうか、皆様方の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

プロジェクト詳細

●プロジェクト名

日本医大みんなのドクターカープロジェクト：命を救うために、ともに走りたい

●プロジェクト実施期間

2024 年 2 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 29 日（予定）

●実施責任者氏名

横堀将司（日本医科大学付属病院 高度救命救急センター部長）

●積算内訳（根拠）

目標支援金額：12,150,000 円

なお、目標支援金額を超過し上記予算を上回る支援を達成できた場合、車両改造費用および関連施設における救急医学に関わる医療・教育・研究体制の整備に充当します。

●返礼

本クラウドファンディングは寄付金控除の対象となります。また、クラウドファンディング終了後および車両完成後に、お礼のメール、寄付領収書、記念撮影、寄付芳名版、ドクターカー見学会への参加、ホームページへのお名前記載、ネーミングライツ*等を予定しています。

*新たに導入するドクターカーの命名権（ネーミングライツ）を提供いたします。（寄付金額に応じて期間は 1 週間から 1 年間まで、企業名も可能です）
車体に企業のロゴデザインを入れることも可能です。
（ネーム採用の可否については、事前審査をさせていただきます。）